

## 酸化誘導時間 (OIT : Oxidation Induction Time) 測定例

目的：酸化防止剤の添加による劣化防止性能の評価など

試料：PP (ポリプロピレン：射出成形グレードのペレット)

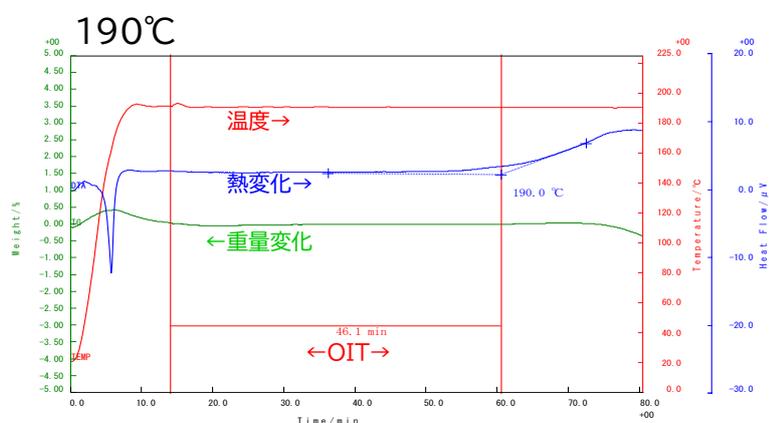
装置：リガク Thermo plus EVO (示差熱天秤 TG-DTA Smart Loader)

条件：試料量約 8mg、リファレンス試料アルミナ粉、

①200°C、40°C/min、5min 保持、アドバンス、N<sub>2</sub>

②200°C、1°C/min、120min 保持、アドバンス無し、Air

※200°Cの測定が汎用性が広いと思われるが、同じPPでも酸化し易い材料の比較は、190°C、酸化しにくい材料の比較は、210°Cでの測定が必要になる場合もあると思われる。



温度 (°C)	時間 (分)
190	46
200	17
210	4

